

8建第 889 号
令和8年9月8日

入札参加事業者 各位

建設整備課長

仕様書及び設計書の訂正について(通知)

令和8年9月4日付で一般競争入札の執行について通知をしました「令和8年度 交通安全対策補助事業 市道豊科1級7号線道路改良工事(3工区)」の仕様書及び設計書について、下記のとおり訂正を行います。

記

訂正内容

仕様書の文言を一部削除する。

別紙「仕様書」及び「正誤表」のとおり

安曇野市 都市建設部 建設整備課
課長 山田
担当 河野
TEL : 0263 - 71-2424 FAX : 0263 - 72-3569

正誤表 「設計書」

(正)	← 2 工期関係← 工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日←から令和9年3月24日とする。← なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。← 工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。← <table border="1"> <tr> <td>①準備期間 ←</td><td>40 日間←</td></tr> <tr> <td>②後片付け期間 ←</td><td>20 日間←</td></tr> <tr> <td>③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数←</td><td>0.77←</td></tr> <tr> <td>④その他の作業不能日（年末年始休業のため）（R8.12.29 ～ R9.1.3）←</td><td>6 日間←</td></tr> </table> 著しい悪天候や気象状況より工程が過去5年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。←	①準備期間 ←	40 日間←	②後片付け期間 ←	20 日間←	③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数←	0.77←	④その他の作業不能日（年末年始休業のため）（R8.12.29 ～ R9.1.3）←	6 日間←
①準備期間 ←	40 日間←								
②後片付け期間 ←	20 日間←								
③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数←	0.77←								
④その他の作業不能日（年末年始休業のため）（R8.12.29 ～ R9.1.3）←	6 日間←								
(誤)	← 2 工期関係← 工期は、雨天・休日等を見込み、工事開始日←（契約日の翌日）←から令和9年3月24日とする。← なお、休日等には日曜日・祝日・夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。← 工期には、施工に必要な実日数（実働日数）以外に以下の事項を見込んでいる。← <table border="1"> <tr> <td>①準備期間 ←</td><td>40 日間←</td></tr> <tr> <td>②後片付け期間 ←</td><td>20 日間←</td></tr> <tr> <td>③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数←</td><td>0.77←</td></tr> <tr> <td>④その他の作業不能日（年末年始休業のため）（R8.12.29 ～ R9.1.3）←</td><td>6 日間←</td></tr> </table> 著しい悪天候や気象状況より工程が過去5年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。←	①準備期間 ←	40 日間←	②後片付け期間 ←	20 日間←	③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数←	0.77←	④その他の作業不能日（年末年始休業のため）（R8.12.29 ～ R9.1.3）←	6 日間←
①準備期間 ←	40 日間←								
②後片付け期間 ←	20 日間←								
③雨休率（実働工期日数に休日と悪天候により作業ができない日数を見込むための係数） 実働日数×係数←	0.77←								
④その他の作業不能日（年末年始休業のため）（R8.12.29 ～ R9.1.3）←	6 日間←								